

令和5年度5月教育委員会 会議録

開催日時	令和5年5月26日（金） 15:00～16:15	
開催場所	早島町町民総合会館 2階 集会室	
出席者	委員	白神敬祐教育長、栗坂祐子委員、綾野克紀委員、市橋晃委員、岡本善弘委員
	事務局	猪木浩二学校教育課長、吉見一成生涯学習課長、貝原丈雄課長補佐、赤堀恵一係長
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 教育長あいさつ 2 協議 <ol style="list-style-type: none"> (1) 特別支援学級担任専門性向上事業について (2) 令和5年度6月補正予算について (3) その他 <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度市町村教育委員会 研究協議会の開催について 3 連絡 4 閉会 	
会議資料		
傍聴者	なし	
会議録作成者	貝原丈雄	

会議内容

<p>1 開会</p> <p>教育長あいさつ</p> <p>白神教育長：皆様こんにちは。お忙しいところお集まり頂きましてありがとうございます。</p> <p>5月は季節の変わり目で、体調を崩しやすい日々なのでご注意頂けたらと思います。</p> <p>議会の関係ですが、当初予算は3月の定例会で否決。3月の臨時会で暫定予算が承認。今月の9日、10日の5月の臨時会で正式に当初予算が議決。やっとスタートラインに立った感じです。6月の定例会は8日が全員協議会で開会。14日、15日が一般質問となっています。</p> <p>コロナの関係ですが、今月の8日から感染法上の位置づけが5類相当に引き下げられました。換気などの基本的な対策は講じながらも、マスクの着用は求めないことが基本となっています。5月1日付の通知を資料に付けています。</p>

県教委と同じ対応となっています。

5月2日の5類に移行する前に小学校、5月8日の5類に移行した日に中学校で、それぞれ今年度に来られた先生方の授業を見させて頂く機会がありました。5月の頭でしたので、ほとんどの子がマスクを付けていました。暑くなってきたので、マスクは徐々にとれていくのかなと思います。

新しい先生方の授業を見させて頂いた感じでは、1ヶ月程しか経っていませんでしたが、子ども達とちゃんと人間関係も築いて、着実に進んでいらっしゃるような様子でした。

学校行事ですが、24日(水)に小学校のスポーツフェスティバルが天候にも恵まれて実施されました。昨年同様で低学年、中学年、高学年に分かれた開催で、リレーと表現という2種目をやっておりました。今年は入れ替え制ではなく、当該の保護者は近くで見えるけど、他の人は少し遠くで見れる感じで、人数制限なく実施しておりました。

なぜ平日開催になったかですが、資料「教育長挨拶メモ」に書いてありますが、平日だったら給食があるとか、土曜日に実施すると月曜日が振り替えで誰が子供の面倒を見るのか、学校が始まって1ヶ月経ったところなので生活のリズムが崩れるお子さんがいらっしゃったり、土曜日の活動を確保したほうがいいのではないかという意見があり、PTAの皆さんと協議して今年度実施してみたということです。

そこに書いていませんが、教員の働き方改革もあるのかなと。先生方も子どもさんがいらっしゃる場合もあるだろうから、その子ども達を土曜日に誰が見るのかということもあるのかなと思います。今年度やったことの成果と課題も、来年度の実施に向けて検討されると思います。

中学校が明日、宮山グラウンドで9時から体育会の開催予定です。中学校は種目が準備運動を含めて10種類くらいあるようです。リレーが多くて、3年生は最後に表現活動もするようになっております。

今月は教育長会のようなものが次々と開かれまして、国レベルが昨年から対面で実施となっていました。925のうち、昨年は約430、今年が約520。少し今年の方が参加された教育長さんが多かった。岡山県からは12町村全員が参加されていました。レジュメを付けています。だいたいこんな事が話し合われました。

岡山教育事務所管内の町村教育長連絡会議であったものは、資料「教育長挨拶メモ」に6点書いています。

① 普通退職者72名のうち、30名程度が、他県・公務員受験

昨年度の実績ですが、定年退職ではなく、若くして辞められた方の半数近くが他県を受験して地元に戻るとか、教員ではない公務員を受験されま

した。

② 女性管理職の割合30%にしましょうという目標

まだそれに達していませんが、それに向けて女性を沢山推薦して下さいという話もありました。

③ 倉敷市は沢山いるけどそれ以外は名簿に載っている管理職が少ない

市町を超えての登用など、沢山受けさせてくださいという内容でした。

④ 再任用の率

定年退職をして再任用する率です。今年度末からは定年延長になります。小学校53.0%・中学校52.4%なので、それ以外は新採用でまかなう感じになり、現場には20代を中心に先生方が増えていっている状況です。

⑤ 精神疾患で休む人が異動1年目、その中でも新採用が多い

岡事管内は昨年度47人体職に入った方がいて、そのうち23人が1年目で、うち7人が新規採用となっています。早島でも今年度小学校に来られた方で一人、病気休暇を取らなければいけない人がいます。GW明けてから体調を崩されて診断書も出ています。どうすれば防げるのかは難しい部分もあります。学校規模の違いや、頑張ろうと思ってやろうとしてそうなるのかなとも思います。

⑥ 障がい者雇用率

教育委員会では現在法定雇用率が2.5%。これが近々上がるんだと言うことで、今は2.62で超えています、毎年調査してやっているところです。

まずここまでで何かございますか。

栗坂委員：女性管理職の登用の件で、自分が現職だった時に優秀な女性の方がいらっしゃって、是非にと声を掛けるんですが、ちょうど管理職を目指す人のご両親の介護の問題など、何人もそういう理由で断られて、やはり女性は家庭の中で介護や家事を担っている割合が大きいと考えるので、働き方改革との関係もあると思いますが、その辺りから変わっていかないと難しいかなと思いました。

白神教育長：教頭以上が管理職で、選考試験を受ける時期というものがあって、その前に色々話をすることもありましたが、女性は特に、なかなかこのような話もないので是非前向きに検討して頂けたらと言ってみても、家庭のこととかが主な感じなのかなかなか。今年度は小中とも女性の方を管理職にと頑張って推薦もしたいなと思っています。周りがフォロー出来る体制になればいいなと思います。

岡本委員：現場に素晴らしい人がいて、校長の立場として推薦しますよね。あれはかなり重要視されるのでしょうか。私も一生懸命何人かの方を推薦しましたが、思うようには登用して頂けなかったという苦い記憶がいくつかあります。

白神教育長：私も県教委でそういった仕事をしていた時もありますが、もちろん岡山県では校長先生の推薦がないとなれないことになっています。選考なのでテストでの成績とか勤務評価などの高い人からということになっていたり、前の校長と今の校長など複数の推薦があるとプラスには働くと思います。昔は余剰人員がいて、名簿に載っているのになかなか入れない人がいたけど、今はそもそも名簿に載っていない。教員の年齢構成も少し影響しているのかなと思います。

市橋委員：一般企業でも人は足りていない。仕事はあるけどなり手がいない。管理職になるなら何かメリットがないとなる必要性を感じない。

白神教育長：管理職の処遇が悪いのは前からある話しですが、早島に来たら働きやすいとか、早島に来たら子どもたちがしっかりしてるとか、メリットがあれば、早島に良い先生が沢山来るかもしれないけど、管理職はそんなに管理職手当がもらえるわけではないのに労働時間がね。

市橋委員：一般の方が教員になるというのは特例中の特例ですか。

白神教育長：校長は教員経験や免許がなくてもなれます。免許のない教員を採用して特別免許みたいなのを与えて、工業とか専門的な技術がある方は、社会人採用枠があります。

市橋委員：ずっと大変だと言って何も変わらないなら、何か違う方法を考えてみるとか。市では出来ないけど町なら出来るというのがあればと思います。

白神教育長：町費の教員ならいいですけど、県費の職員は任命権は県が持っているのです。

市橋委員：スポーツフェスティバルが平日開催になった経緯はわかりましたが、検証等次の対応を目的に即したのかどうかは是非やって欲しいし、可能なら平日開催についてどうだったのかアンケート等で皆に聞いてみて欲しい。1・2年生と5・6年生が同じ競技時間なのが気になりました。

白神教育長：リレーと表現の2つしかなかったので、ボリュームが少なかったという意見は個人的にも聞きました。昔みたいにすると、子どもが沢山いて保護者が席取りをする。その辺が大変だったと聞いたことがあります。校園長会で検証の話はしておきます。

2 議事・報告案件

(1) 特別支援学級担任専門性向上事業について

【資料説明】

白神教育長：何かご意見ご質問はありますか。

栗坂委員：この事業は特別支援学級の担任をしている経験の浅い先生が対象というか研修を積んでいくと言うことですね。

赤堀係長：目的はそこなのですが、実際に経験の浅い若い先生方を使うことが、本当に正しいアセスメントが出来ているのかとか、正しく個別最適化された学びに繋がって

いるのかどうか分からなくなるので、基本的には特別支援学級に所属している先生方が一丸となって触って慣れていくとか、アセスメントしていく中で、このような考え方があるのを身に付けていく道を、補助的な役割として位置付けていますので、若い先生だけではなく、特別支援学級に所属している先生はもちろんですが、ゆくゆくは通常学級の先生方にも、中には特別に支援を要する子ども達も一定数いると思いますので、学校全体として特別支援の視点を持って支援が出来ていたらなと考えています。

栗坂委員：特別支援学級の担任だけではなく、通常の先生の特別支援教育に対する理解が子ども達にすごく影響を与えていると思う。特別支援教育を勉強していると、若くてもそれなりの対応が出来るし、特別支援の勉強が出来ていない先生は、どんなに経験を積んでいても難しかったりするので、ICTを使っての有効な先生方の研修になるとは思うけど、それだけではなく、通常の先生方には是非特別支援教育の大切さというか、通常で過ごしている支援が必要な子ども達が、落ち着いてそこで授業が受けれるようにしていけたらなと思いました。

白神教育長：実際には配慮の必要な子供は通常学級にもいるので、その子たちにも支援が与えられるように学校全体で取り組んでいけたらと思います。

これは今年度初めての事業で3年間早島町だけが指定を受けています。LIT ALICOというソフトについては、備前と笠岡は、市独自のお金を使ってやっていますが、早島は県からお金をもらって3年間出来ます。

(2) 令和5年度6月補正予算について

【資料説明】

猪木課長：補正予算(3)幼稚園管理運営費の園内フェンス設置工事ですが、新年度が始まり4月に、年少の園児が園外に出る事案が発生してしまいました。すぐに見つかり連れ戻すことは出来ました。正門の方はカギを閉めていましたが、横の出入り口から出たようでした。少し支援が必要なお子さんで、当日は参観日で、保護者の皆様が園長の話聞くのに上にあがっていて、子ども達は園庭で遊びましょうという時間に園外に出てしまった。以前から園庭と駐車場の間の部分が見えないので、危険なので止めて欲しいという意見は聞いていて、今でも緑の網のようなのは引いて一応ブロックはしていましたが、その網をくぐって出てしまった為、至急フェンスを設置しようということになりました。

(3) その他

- ・令和5年度市町村教育委員会 研究協議会の開催について

【資料説明】

白神教育長：何かご質問はありますか。

岡本委員：教頭の話で、先生方の中で教頭職が1番忙しいのは、前々から言われていたことですが、私は1人教頭と2人教頭の両方をしたことがあり、2人になった時、息があったというのがありますが、仕事が非常に上手く進みました。教頭になったらしんどいだけだという先生が沢山いると思いますが、仕事の軽重がバランスを失っているとしたら、人的配置しかない経験から思います。

昔の運動会は地域を挙げての行事だった記憶があります。地域に開かれた学校だとか、地域との連携と言いながら、学校は逆に閉ざしている感じがします。

白神教育長：教頭職の話は、教頭と教諭の間に主幹教諭を置けるようになっていきます。管理職で定年延長後は、主幹教諭か指導教諭になるから、どんどん増えて教頭の仕事の一部を補助出来れば、仕事が軽減されるかもしれません。

貴重なご意見ありがとうございます。他にはございませんか。

岡本委員：地域のつながりはずっと大きな課題ですが、子供会は今どうなんですか。

吉見課長：子供会がだんだん減って、大きなところだと市場が子供会なくなりました。例年の夏休みラジオ体操会も、実施されない自治会が増えてきています。

3 連絡

猪木課長：6月の教育委員会は、6月27日（火）14時から、中学校に現地集合でお願いできたらと思います。授業を見てからの会議になります。

4 閉会